

## 令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立長良特別支援学校

学校番号	103
------	-----

### 自己評価

学校教育目標	一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、個別具体的にに応じた教育活動を行う
評価する領域・分野	「学校教育全般」
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動におけるアンケートでは、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が全体の90%以上を占めており、7項目においては98%が当校の教育活動についてある程度理解を得ている。一方、「分からない」の回答が7.6%あり、学校の情報発信に課題があると考えられる。</li> <li>・自宅や隣接する長良医療センターからの通学生や訪問生等、様々な学びの場を展開している当校において、個々の実態や健康状態に応じ、個に合わせた機器の活用や、キャリア学習の情報発信をしていく必要がある。</li> </ul>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学び」を充実させるため、ICT機器を活用した授業改善に取り組む。(小学部・中学部・高等部・研究部)</li> <li>・人工呼吸器による医療的ケアのあり方について県教育委員会と連携しながら整理・改善を進める。(小学部・中学部・高等部・保健部)</li> </ul>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な授業公開の機会や、授業作りや授業改善を行う場を設けることで、授業力の向上を図る。</li> <li>・児童生徒の体調急変時及び緊急時の対応について、職員全員が共通認識し行動できるようにする。</li> </ul>
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究・授業交流の日を設定し、授業について話し合う場を増やした。メタモジの活用法やタブレット機器の接続に関わる学習会等を実施した。</li> <li>・人工呼吸器等医療機器に関する研修を実施して医療的ケアの理解を深め、緊急時対応についての訓練も実施した。</li> </ul>
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態に合ったICT機器を活用した授業ができていますか。</li> <li>・児童生徒の体調急変時や非常変災時等の緊急時を想定し、児童生徒の安全が確保できているか。</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高それぞれ卒業学年の児童生徒を中心に、卒業後の進路について個別に検討。体験通学や学習を繰り返し、慎重に進路選択を行った。</li> <li>・緊急時対応時マニュアルの見直しを行い、訓練を実施した。</li> </ul>
評価の視点	評価
① 児童生徒の実態に合ったICT機器を活用した授業づくりができたか	(A) B C D
② 児童生徒の体調急変時及び緊急時について必要な対策ができたか	(A) B C D
③ 学校の教育活動等、取組が発信できているか	A (B) C D
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○各部それぞれにおいて、ICT機器を用いた様々な活動を行ってきた。その都度、話し合いの場や体験の場を持ちながら対応できた。今後は、その経験を次年度以降に繋げていくとともに、より充実を図っていく必要がある。</li> <li>○体調急変時及び緊急時訓練を職員一人一人が場面を想定・意識して行った。</li> </ul>	(A) B C D
来年度に向けての改善方策案	○今年度の成果は、単年度で完結するものではない。来年度以降も引き続き課題意識を持って取り組み、内容をより改善していく。また、それら学校の取組をきちんと情報発信していく。

### 学校関係者評価 (令和7年2月21日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態や保護者の思いを受けて、積極的かつ先進的な教育活動を行っているところは評価できる。このような取組について、保護者や関係機関、地域へ積極的に発信して欲しい。</li> </ul>
-----------	---